



おまちっ!

Vol.
116

2019.11.1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



高崎芸術劇場外観



芸術でもてなすまちづくり

- 高崎芸術劇場
- 「中之条ビエンナーレ2019」を終えて

【連載】あの記事は今 No.7

『上州七日市駅』リニューアルオープン ～周辺道路と広場も景観整備～

【投稿】「花と緑のぐんまづくり2019 in みなかみ

～ふるさとキラキラフェスティバル～」が大盛況のうちに閉幕しました!!

マーチィ'sROOM ●マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊

●マーチィ VOICE ファシリテーター紹介

●マーチィの掲示板 国土交通大学校へ行ってきました!

【まちづくりイベント情報】県内で行われるイベントの紹介

●マーチィの独り言





高崎芸術劇場

高崎市 都市整備部 都市集客施設整備室

高崎芸術劇場は、「音楽のある街高崎」を創造・発信する拠点として、また、高崎市民と高崎に集う人々の交流の場として、令和元年9月20日にベートーヴェン交響曲第9番「歓喜の歌」で幕を開けしました。

高崎は古くから交通の要衝として栄え、新幹線・高速自動車道等の広域ネットワークの結節点として発展してきており、今日でも高崎駅は、上越・北陸新幹線をはじめ多数の鉄道やバス路線が乗り入れる県内唯一の交通ターミナル機能を擁しています。当施設は、この群馬の玄関口ともいえる高崎駅から400mに位置しており、上信越と首都圏を結ぶ中心都市の「顔」であり、新しい高崎の象徴でもあります。



外観写真

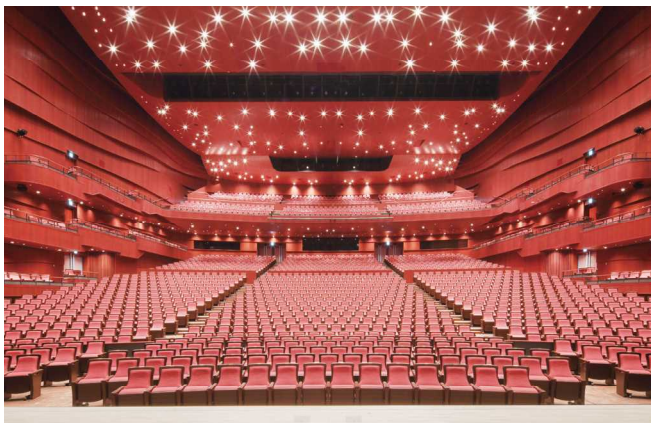
■施設紹介

高崎芸術劇場は、地上8階、地下1階建て、延床面積約27,000㎡で、大劇場、スタジオシアター、音楽ホールという3つのホールと、リハーサルホール、レッスンルーム、スタジオなどの9つのスタジオ群で構成されています。

大劇場は幅広い演出に対応できる最新鋭の舞台装置を備えた高機能な多目的ホールで、最大2,030席の大空間でのステージは圧巻です。また、舞台面と舞台間口の広さが国内最大級を誇る舞台は、臨場感を増大し、客席と舞台の一体感を生み出します。

スタジオシアターは奥行きが変化する舞台と、ロールバック形式の可動席により、568席での公演から、客席まで全てフラットにした最大1,000人収容可能な平土間まで変化し、イベントに合わせて自由な空間形成が可能です。舞台内部は黒を基調とし、思いのままの照明演出でロックコンサートなどのスタンディングイベントを行えるほか、能舞台も備えた創造性あふれる空間です。

音楽ホールは、「音楽のある街高崎」を象徴した412席のホールで、どの座席からも舞台を近く感じられるリサイタルに適した空間となっており、柔らかな質感に包まれながら、本格的な響きを味わえます。



大劇場



スタジオシアター

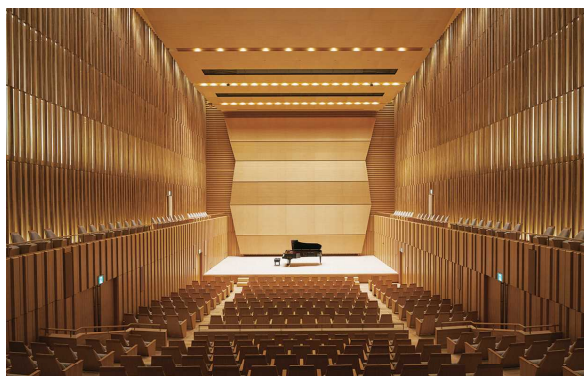




このほか、公演の練習、発表会やワークショップに利用が可能なリハーサルホール、市民の多様なジャンルの創造活動を活性化させるレッスンルームやスタジオを備えています。また、当施設の1階には、シアターカフェ&レストランもオープンし、公演への期待や余韻を後押しする空間で、来館者をもてなします。

高崎芸術劇場は、日本を代表する音楽と文化芸術の殿堂として、さまざまなジャンルの音楽や、オペラ、ミュージカル、演劇、伝統芸能などの舞台芸術を「鑑賞・創造・発信」とともに、活発化している市民の文化芸術活動を支えていきます。

すでに多種多様のラインナップが決まっており、魅力的な公演がめじろ押しです。開館に合わせてペDESTリアンデッキも開通し、高崎駅から徒歩約5分というアクセスのよさを売りに、県内外からも多数の集客を見込んでいます。みなさまも是非、この至極の空間で、高質な響きを味わってください。

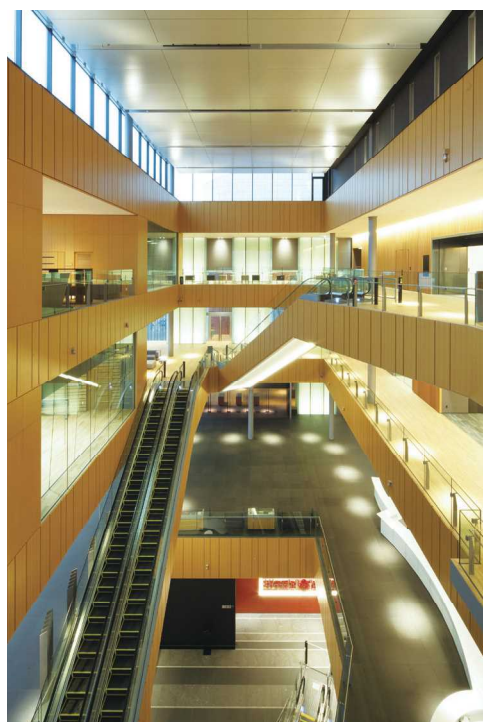


音楽ホール

■整備概要

高崎芸術劇場は、社会資本総合交付金の都市再生整備計画事業(高崎駅東南地区H25~28及び高崎駅東口周辺地区H29~R2)と、暮らしにぎわい再生事業(高崎駅東口地区H26~31)において、地域の「文化力・市民力・産業力」の向上により都市ブランド力を確立し、地域内外の交流人口を増大させ、集客都市として持続可能なまちづくりをすることを目的に整備しました。

また、平成20年度に策定した中心市街地活性化基本計画は、第2期の最終年度を迎えています。区画整理やペDESTリアンデッキにより、立体的都市基盤の整備は整いつつあり、高崎アリーナの開館や大型商業施設の開業、このたびの高崎芸術劇場の開館、さらに来春にはGメッセ群馬のオープンを迎え、中心市街地地区は都市機能の集積が急速に進み、高崎駅を中心として多くの人々が集まり、新しい都市文化や経済活動を生み出す、にぎわいと躍動感あふれるまちづくりへと繋がっています。



エントランスホール

■歴史の継承と進化

「音楽のある街高崎」を象徴しているのが、日本の地方管弦楽団の草分け的存在である群馬交響楽団。1945年に戦後の焦土の中から新しい時代の希望として楽団は生まれ、1961年に「群馬音楽センター」が建設されて以降、高崎に本拠地を置く群馬交響楽団は、日本の音楽界を古くから牽引し、「音楽のある街高崎」というスローガンとともに、本市の文化芸術の象徴とされてきました。その創造の場でもある群馬音楽センターもまた、たくさんの音楽や舞台芸術を創り出してきた歴史があります。そして高崎はクラシックばかりではなく、アマチュアのストリートライブも盛んで、ロックやポップスの分野でも日本を代表する数多くのアーティストを輩出してきました。吹奏楽や合唱など、多彩で質の高い市民の音楽活動も、さらに歴史を蓄積しています。

高崎芸術劇場は、これら記憶に残る多くの感動や共感を生み出してきた歴史を継承し、新たに進化、創造していきながら、市民が誇りと愛着を持てる施設であり続けます。





「中之条ビエンナーレ2019」を 終えて

中之条町 観光商工課

■31日間で39万人が訪れる

8月24日から9月23日までの31日間にわたり開催された「中之条ビエンナーレ2019」では、展示会場47会場に対し累計で39万人の方にお越しいただき、多くの皆さんに現代アートと中之条町を楽しんでいただきました。

7回目を迎えた今回は、例年よりも2週間早く開催され暑い日が続きましたが、多くの方々の支えのもと、無事に終了することができました。お越しいただいた皆さん、関わっていただいた皆さんに対し、改めて御礼申し上げます。

■国際色と地域色が共に豊かに

中之条ビエンナーレは、温泉街や木造校舎などを舞台に、町内各地で現代アート作品の展示をはじめパフォーマンスやワークショップなどを開催する芸術祭です。年々国際色豊かになり、約150組の作家のうち3分の1は海外からの参加、約20の国と地域から作家が集まりました。

一方運営では、行政区の皆さんや婦人会の皆さんが総出で会場受付をしてくれたり、作品の素材を町民の皆さんと一緒に探してくれたり、地域との関わりが深いことも特徴です。

町のおばあちゃんの日常会話で自然と「ビエンナーレ」という言葉が漏れる、そんな光景に出会えることは、大変ありがたいことです。

■2019の特徴

準備年を加えればもう14年も継続している中之条ビエンナーレ、その中で新しい取り組みを少しご紹介します。

①ボランティアサポーター「ナカミーゴ」

以前から作品制作のお手伝いや会場受付などのボランティア組織はありましたが、新たに「ナカミーゴ」(中之条の仲間(Amigo)という意味)と命名し、「アソブ」「マナブ」「クリエイティブ」を指針として、新しい組織として立ち上げました。会期中はたくさんの「ナカミーゴ」が参加し、運営を助けてくれました。今後は「ナカミーゴ」主体の企画を行うなど、より活発で楽しい活動ができればと考えています。

②エデュケーションプログラム

児童・生徒との共同制作は以前もありましたが、今回は選考段階からエデュケーションプログラム作家を採用し、計画的な学校との連携のもと、授業内での作品制作を小中学校の多くのクラスで実施させていただきました。児童・生徒が携わった作品は展示され、地域とビエンナーレとのつながりを深めることができました。

③町民アートプロジェクト

実行委員独自企画として、町民目線でのアートプロジェクトを運営しました。その中でも「中之条町手をつなぐ育成会」が主催している「なかんじょアートミーティング」を中心に、障がいをもった方たちの作品展「わがんまアート」を実施することができ、大きな反響を得ることができました。

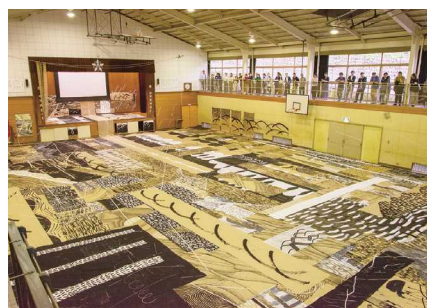
これら新しい試みは、どれも作家とサポーター、作家と地域の方々を結び、人と人とのつながりを強める取り組みであったと思います。今後も中之条ビエンナーレを継続していくためには、応援してくれる方々の一層の理解が大切だと考えており、今回の中之条ビエンナーレ2019では、その点で次につながる良い一歩を刻めたのではないかと考えています。



受付ボランティアのみなさん



小学校での作品制作



春田美咲「echo」(旧第三小学校)



石坂孝雄「夏の終わりに」
(日向見公園)



あの記事は今 No.7

『上州七日市駅』リニューアルオープン ～周辺道路と広場も景観整備～

富岡市 建設水道部 都市計画課

■かつての上州七日市駅とワークショップ

かつての上信電鉄の上州七日市駅は、建物が老朽化し、急な階段や駅前の狭い通路、駐車場はなく、駐輪場も狭いなどの問題があり、交通結節点としての機能を十分果たしているとは言えない状況でした。

このような問題を解決し、利用者が使いやすい駅舎を駅周辺と含めて整備することを目指し、平成29年度に地域のみなさんや上信電鉄社員の方、高校生を交えたワークショップを2回行いました。1回目では、実際に現場を見て、問題点や課題を洗い出し、2回目では、それぞれの課題を踏まえた改善策や、アイデアを出していただきました(詳細は『おっ!!まっちい～第105号』をご覧ください)。今回の整備事業においては、こうしたワークショップで出た意見の多くを設計に反映し、実現しています。

■生まれ変わった上州七日市駅周辺

平成30年4月に県立富岡高校と県立富岡東高校が合併したことにより、上州七日市駅の利用者は増加しています。新たに増築した駅舎部分には、トイレの新設やミニ図書館が設置され、多くの方に利用されています。その一方で既存駅舎は当時の趣を残しつつ、耐震補強するなど、リニューアルを実施。また駅前広場には、サークルベンチやロータリー、駐車場、駐輪場、歩車共存道路の整備と景観舗装を行いました。旧七日市藩邸の中門(通称:黒門)といった史跡と調和した景観は、通学する高校生だけでなく、地域住民にも愛着をもっていただける街並みとなっています。

■完成記念式典を開催!

令和元年7月23日には、上信電鉄株式会社との共催により、上州七日市駅駅舎・周辺整備事業の完成記念式典を駅前広場にて開催しました。式典には、設計・施工関係者ほか、富岡市議会議員や地権者、地元住民、ワークショップに参加した方、富岡高校の生徒・教職員などが出席し、富岡高校吹奏楽部の演奏が式典に華を添えました。

式典のなかで、ワークショップにも参加した高校生からのお礼の言葉が述べられ、ワークショップで出された意見の多くが、整備事業に活かされたこと、これからは安心して通学でき、今まで以上に学業・部活動に取り組めることなど、事業の完成を感謝する言葉をいただきました。

■おわりに

上州七日市駅は明治45年に開業し、駅舎は建築後70年以上が経過していましたが、その面影を残しつつ、設備を一新し、安全・安心な駅舎にリニューアルしました。利用者の多くは富岡高校の生徒ですが、地元の人にとっても利便性が向上したことにより、地域の皆さまに愛される上州七日市駅になっています。上州七日市駅周辺には、旧七日市藩の史跡はもちろん、蛇宮神社や一峰公園など市民に利用される名所が徒歩圏内にあります。ぜひ上州七日市駅を拠点に、周辺を巡ってみてはいかがでしょうか。



リニューアルされた上州七日市駅舎



かつての上州七日市駅舎



黒門前景観舗装



事業完了を祝いテープカット



花と緑のぐんまづくり2019 in みなかみ~ふるさとキラキラフェスティバル~が大盛況のうちに閉幕しました!!

群馬県 県土整備部 都市計画課
みなかみ町 エコパーク推進課

8月31日から9月23日までの24日間、みなかみ町で開催していた「花と緑のぐんまづくり2019 in みなかみ~ふるさとキラキラフェスティバル~」が大盛況のうちに閉幕しました。

今回は「世界が見つめる花と緑の水源のまち“みなかみユネスコエコパーク”」をテーマに開催し、メイン会場である「たくみの里」を中心におよそ12万人の方にお越しいただきました。

たくみの里内の寺通り沿いでは、秋そばの白い花と黄金の稲穂が一面に広がり、特設の高見台からの眺めは圧巻でした。また、宿場通り沿いでは、地元住民のみなさんに花植えからご協力いただき、普段から魅力的な地域により一層の飾花を充実させてお客様をお迎えしました。

さらに、豊楽館北側のメイン花壇は、たくみの里の自然、その中での人々の暮らし、そして秋の収穫のお祝いを表現した“みなかみらしさ”がぎっしり詰まったものとなりました。豊楽館をくぐるととてもきらびやかな花壇達に目を惹かれ、自然に奥へと歩を進めるような空間でした。各花壇に起伏を持たせ効果的に美しさを表現しており、花壇をバックに記念撮影をしているお客様が多く、みなさんに楽しんでいただけたようです。

毎年実施している「花と緑のコンテスト」は、今回は夏期のコンテストであったため花苗選びに悩まれたことと思いますが、今年もかなりの力作揃い!!夏の草花を用いて豪華に飾られた作品や、花を植える容器に楽しい工夫をした作品などに来場者の方が見入っている様子が印象的でした。

お盆明けに「花いっぱい大作戦!」と称してボランティアの方々約110名のご協力のもと、ハンギングバスケット500基、プランター300基を作っていただき、その多くがサテライト会場や町内の沿道に設置され、町内の様々な箇所が飾花されました。

週末のステージイベントにおいては、お客様に楽しんでいただきやすいように、各日「アーティストDAY」「キッズDAY」「クラシックDAY」などのテーマを設けて実施しました。

約1ヶ月という長い期間、多くのお客様を迎え、会場の花々も美しく咲き続けることができたのは、地元住民のみなさまを始め、関係される本当に多くの方々のご協力があったからだ、強く実感しています。この場を借りて感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました!!

最終日のクロージングセレモニーでは、これまでの開催地の名が刻まれた楯が、第12回目の開催となる次回開催地の藤岡市へ引き継がれました。2020年4月末から約1ヶ月間の会期を予定しており、またみなさまにお楽しみいただけるよう精一杯頑張っていきたいと思いますので、ぜひご来場ください。



メイン花壇の様子



メイン花壇の様子



コンテスト作品



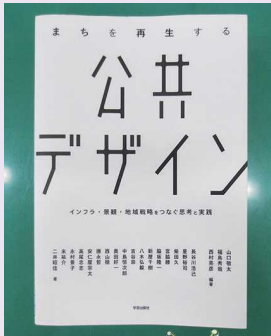
イベント状況



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます！
「景観否定派こそ読んで欲しい まちを再生する公共デザイン」
山口 敬太・福島 秀哉・西村 亮彦（編著）他 学芸出版社



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら！



インフラにおける「景観」や「デザイン」と聞くと、何を想像するでしょうか。例えば、「景観なんてやって何のためになるの」と言う人がいるかもしれません。また、「景観といえば、歩道はとりあえず、インターロッキングでしょ」と考える人がいるかもしれません。

しかし、本書を読むと、これは全くの間違いであることがわかります。インフラのデザインとは、対象物のみならず外部空間、その基盤となる整備事業とその上位計画、さらに総合戦略など、より上位の問題を含めて検討します。このため、景観デザインにより、まちの再生など地域の課題解決が図られる事例が出てきています。

本書では、インフラのデザインと公共事業を軸に、地域課題の総合的解決への取り組みを「公共デザイン」と名付け、その考え方や課題、役割が議論され、最後に全国の事例が紹介されています。

地域の課題解決に悩んでいる方はぜひ読んでみてください。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

帝京大学 丹羽 彩奈



丹羽彩奈さん



講座の様子

平成30年度の講座に参加した帝京大学の丹羽彩奈です。講座講師である大下先生からのお誘いで講座を知りました。ゼミ長を引き受けメンバー全員の意見を引き出そうと努めていたものの、思うような成果が得られないで悩んでいた時のことでした。相手の意見を引き出し、話し合いを円滑に進める役割のファシリテーターの技術こそが、今の自分に必要だと確信をもちました。

初めて講座に参加した時は、周りが大人の方々ばかりだったので圧倒されてしまいました。チーム内で協力し合いながら意見を出し合うことで仲が深まり、回数を重ねる度に自分の意見に自信を持って発表することができました。この講座に参加して一番学んだことは、相手の意見を聞き出すだけでなく、最終的な目標の設定や時間配分を決める事で限りあるワークショップの時間を有意義に使うことです。目標設定が曖昧で時間内にまとめることができなかった私にとってのスキルアップになりました。

また、座学だけではなく地域を巡ることで、実際のワークショップを想定して学ぶことができることも魅力です。少しでもファシリテーターに興味がある方は、ぜひこの講座に参加され、魅力ある群馬県づくりに貢献いただくことを期待しています。

マーチィの掲示板

国土交通大学校へ行ってきました！

群馬県都市計画課まちづくり室景観形成係の高瀬です。

7月1日から7月12日までの間、国土交通大学校で実施された「良好な景観による地域活性化研修」に参加してきました。

この研修は自治体の景観・屋外広告物担当者向けに、大学の先生等各分野のスペシャリストから関係法令や実際の整備方法などについて講義を受けるもので、中には現地を実際に歩きながら行う講義もありました。

「景観」というと、人によって考え方が異なるから答えは無いと思われがちです。しかし、人が良いと思う景観に大きな差は無く、また良い景観と言われるものは全て論理的に説明ができるということを学びました。今までよくわかっていなかったことが、スルスルと紐解かれていくような感覚で、講義を聞いていてとてもおもしろかったです。

研修の後半には今後の景観に関する課題について、グループ討議を行いました。ああでもない、こうでもないと考えをぶつけ合い、中身の濃い討論を行うことができました。最後に各グループの発表がありましたが、完成度の高い発表ばかりで、全体を通して様々な刺激を受けながら景観について学ぶことができました。



横浜市内での現地講義



まちづくり イベント情報



第4回上州沼田真田まつり

戦国武者に仮装した人達が練り歩く武者行列や鉄砲隊の演武など見応え抜群！真田ゆかりの旨いもの合戦や沼田えびす講も同時開催。

■11月9日(土)～11月10日(日)
10:00～17:00

■本町通り、沼田小学校校庭、
天狗プラザ ほか

【お問い合わせ先】
沼田市 観光交流課
TEL 0278-23-2111



光のページェントHiKARi MiRAi

シンボルタワー周辺をイルミネーションで幻想的に飾る恒例のイベント。隣接する広場に描かれた電球による地上絵は、夜間に特別開館するタワー展望室から楽しめる。さらに12月18日から1月13日まではタワー内でデジタルコンテンツによる特別演出をおこなう。展望室入場料:100円(小学生以上)

■11月16日(土)～
令和2年1月26日(日)
17:00～21:00

■邑楽町シンボルタワー
「未来MiRAi」周辺

【お問い合わせ先】
邑楽町役場 商工振興課
TEL 0276-88-5511



甘楽町60周年記念事業

第6回甘楽もみじウォーク

紅葉山公園や城下町小幡のまち並み等を巡るウォーキングイベント

■11月17日(日)
9:00受付開始 10:00出発

■小幡公園(集合場所)

【お問い合わせ先】
甘楽町役場
産業課商工観光係
TEL 0274-74-3131



下仁田ねぎ祭り2019

下仁田ねぎ等の特産品の販売や、巨大ねぎ作りなどをを行います。多数イベントも開催しますのでぜひお越しください！

■11月23日(土・祝)
9:00～15:00

■こんにゃく手作り体験道場前広場、
仲町通り

【お問い合わせ先】
下仁田町農林課
TEL 0274-64-8806
(直通)



桐生市空き家見学会

桐生市への移住や二地域居住を検討している方を対象とした空き家見学会を開催いたします。今回の見学会は、土地をお探しの方の要望にお答えするため、土地の見学も含めたコース設定となっております。申込みは先着順ですので、お早めにお申込みください。

■11月30日(土)10:00～13:00(予定)

■桐生市内

【お問い合わせ先】
桐生市 空き家対策室 定住促進係
TEL 0277-46-1111
(内線367)



わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション

沿線市民の方々と一緒に、わたらせ渓谷鐵道の各駅にイルミネーションを飾り付けました。レトロ感あふれる列車と光り輝くイルミネーションをお楽しみください。

■12月1日(日)～
令和2年2月29日(土)
17:00～各駅最終通過まで

■わたらせ渓谷鐵道各駅(全駅を予定)

【お問い合わせ先】
わたらせ渓谷鐵道
株式会社
TEL 0277-73-2110



原町大酉祭

1年の無事感謝し、来る年の開運、授福、殖産、除災、商売繁昌をお祈りする祭礼で、商売繁盛・家内安全などを祈願する人で賑わい、露店も立ち並び冬の風物詩となっています。甘酒のサービスの他、抽選会や、農機具等の販売なども行われます。吾妻の恒例の祭礼にぜひご家族そろってお越しください。

■12月20日(金)
10:00～16:00

■東吾妻町
原町八坂神社境内付近

【お問い合わせ先】
東吾妻町商工会
TEL 0279-68-2256



マーチの独り言

11月ですね。私は食欲の秋を満喫しております。冬への備えはバッチリです。

今号では久々に「あの記事は今」が掲載されました。この連載は、過去に取り上げた記事が、その後どうなっているのかを紹介するものです。過去の記事で、気になるものがあれば、どんどん紹介していきたいと思っておりますので、過去に寄稿いただいた皆様、ぜひぜひご協力をお願いいたします。





帝京大学
TEIKYO

経済学部 観光経営学科
Faculty of Economics Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識をあわせ持った人材を育成します

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

入学試験情報	出願期間	選考試験日	合格発表日	※一般入試1期1月30日(木)は、高崎試験場を含む地域試験場がございます。 ※出願方法はインターネット出願です。
一般入試1期	2019年12月18日(水) 2020年1月21日(火)	【試験日自由選択制】 1月30日(木) 2月1日(土)	2月7日(金)	

八王子キャンパス広報グループ
お問い合わせ先 **TEL : 0120-508-739**

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359
URL: <http://www.teikyo-u.ac.jp>

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3665 URL <http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html>